

# ☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年10月16日 VOL. 74

## 高齢者見守り実証実験 モニター説明会 を 開催

平成30年10月9日（火）・13日（土）に、行方不明になる可能性のある高齢者の「見守りシステム実証実験のためのモニター説明会」を開催しました。これは電波特性の異なる複数のLPWA規格を活用して有効性を検証しながら既存のサービスに加え、支援の選択肢を研究していくものです。（ICT推進室・介護福祉課・地域包括ケア推進課 3課連携事業）

種別	ブザー型	カード型	タグ型	シューズ型	シューズ取付型	バンド型
通信方式	Sigfox	Sigfox	LoRaWAN	3G	LTE-M	LTE-M
サイズ (mm)	W50×H70×D28	W51×H81×D6.5	W76.5×H30×D13.7	—	W90×H110×D21	W44.2×H43.6×D13.9
重量	約80g	40g以下	約40g	—	—	—
イメージ						

参加者はご家族やご本人、ケアマネなど14人。**共同実証実験を行う(株)LiveRidgeの担当者**から今回使用する端末の形状や装着方法、電池の持ち時間などの説明を受け、高齢者本人の状況や家族のできる支援を合わせながら、候補となる端末の機種を考えていきました。

「この靴を履いてくれるのかしら」  
「離れて暮らしているので長時間電池がもたないと」など寄せられた意見をふまえつつ、モニターアンケートを通して研究を重ねていきます。

### 既存のサービス① (介護福祉課)

#### ◆徘徊高齢者家族支援サービス◆

所在が分からなくなったときに、GPS衛星を利用して位置情報を探索できるGPS端末を貸与しています。

### 既存のサービス② (地域包括ケア推進課)

#### ◆認知症見守りネットワーク◆

行方不明になる可能性のある人の名前や住所、連絡先、写真等を事前に登録し、消防や警察と事前に情報を共有しておくことで、早期に発見・保護につなげています。

## 公益社団法人静岡県理学療法士会主催の研修会で取組みを紹介

平成30年10月13日(土)常葉大学水落キャンパスを会場に開催された「静岡県訪問リハビリテーション人材育成研修会」において、「市町が考える自立支援」をテーマに、地域包括ケア推進課 医療・介護連携係 南部裕子主任主査が取組みを報告しました。

約30人の参加者は、本市が昨年度から開始した「介護予防短期集中通所リハビリ指導（通所C）」や「介護予防訪問リハビリ指導（訪問C）」、介護予防人材育成を目的とした「運動サポーター養成講座」などの事業説明を聴講しました。

これらは本市が、「介護予防・生活支援サービス事業」においてリハ専門職への期待を事業化し、評価を行い修正しながら実施しているものです。聴講したリハ職から本市の介護予防・日常生活支援総合事業の全体像や、予算の考え方などの質問も出て大いに盛り上がりました。

